

2026年6月5日

## 2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第3回 5月下旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課 (植田)  
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

### ○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は、前年及び平年を上回った。

前年	2025年5月22日	(7点の平均)	6.0 個/m <sup>3</sup>
前回	2026年5月7日	(7点の平均)	44.5 個/m <sup>3</sup>
今回	2026年5月18日	(7点の平均)	97.9 個/m <sup>3</sup>
			※5月下旬の平年値 46.6 個/m <sup>3</sup>

### ○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は、前年及び平年を上回った。

前年	2025年5月22日	(7点の平均)	1.1 尾/m <sup>3</sup>
前回	2026年5月7日	(7点の平均)	3.4 尾/m <sup>3</sup>
今回	2026年5月18日	(7点の平均)	9.8 尾/m <sup>3</sup>
			※5月下旬の平年値 6.4 尾/m <sup>3</sup>

### ○プランクトン調査

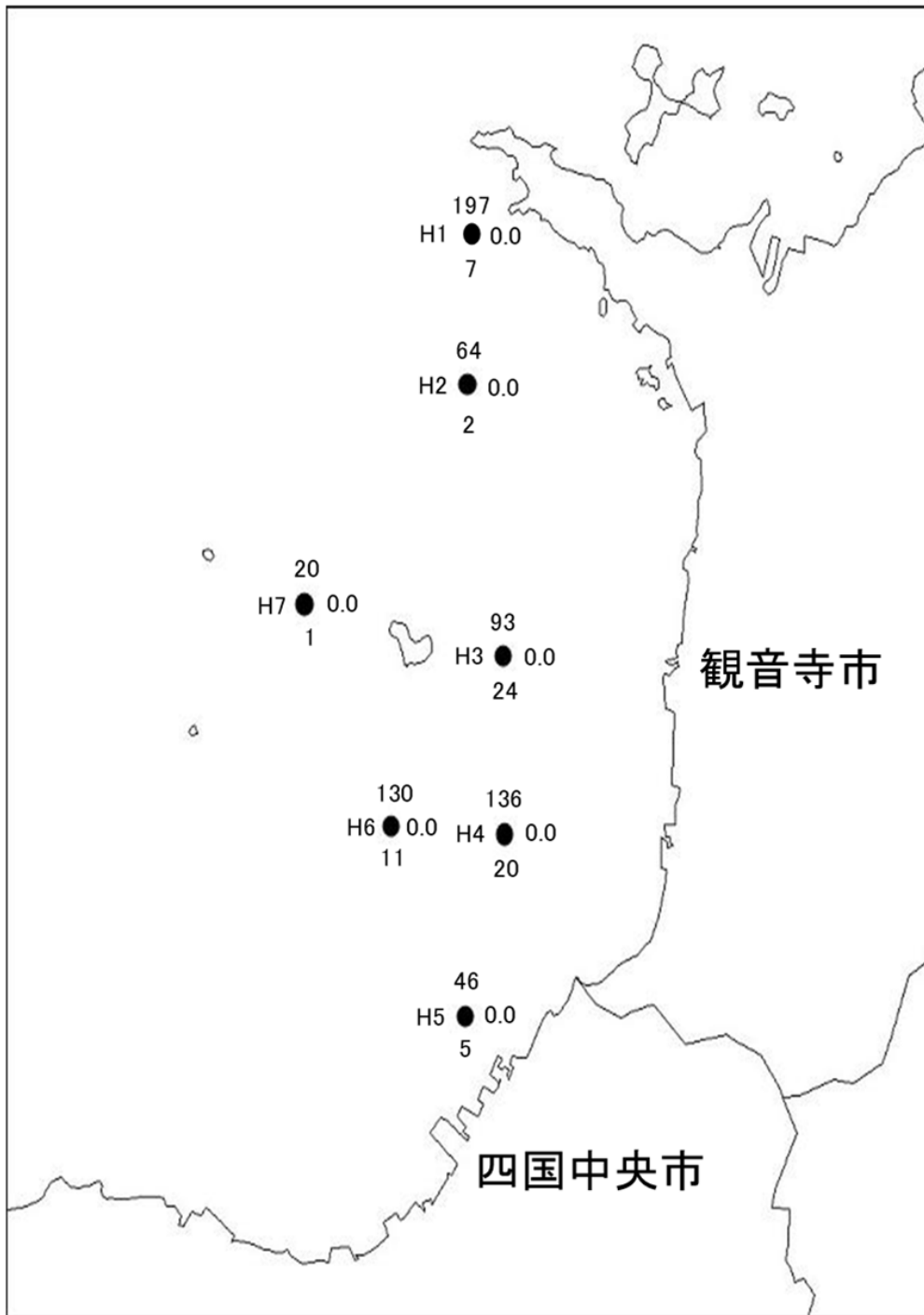
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、前年及び平年を下回った。

### ○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を下回った。

次回の調査は6月1日(月)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/5/18)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m<sup>3</sup>)を、  
 下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m<sup>3</sup>)を、  
 右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m<sup>3</sup>)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度  
 凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度  
 5 ← 仔魚密度

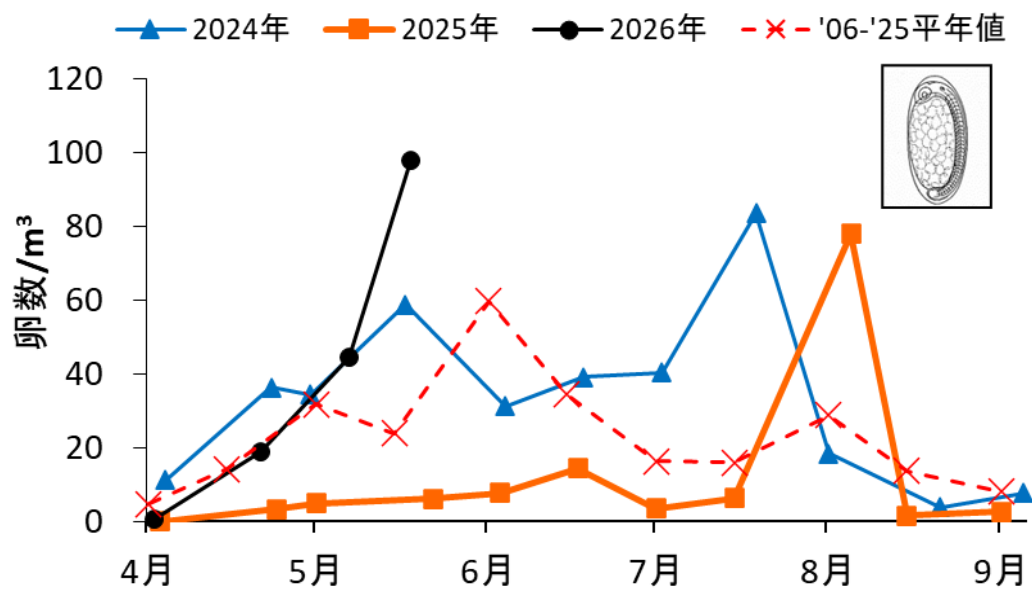


図. カタクチイワシ卵数の推移

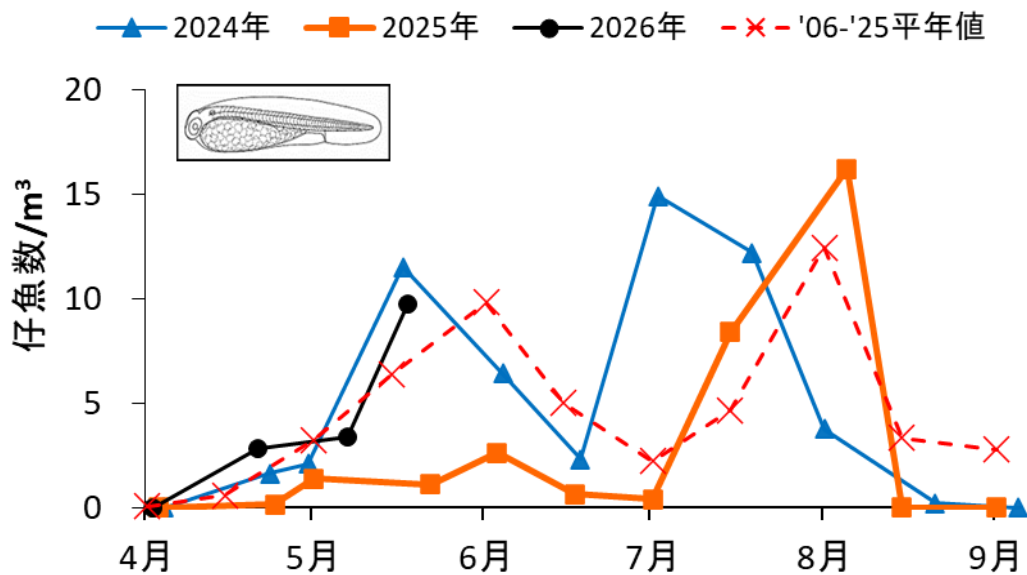


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

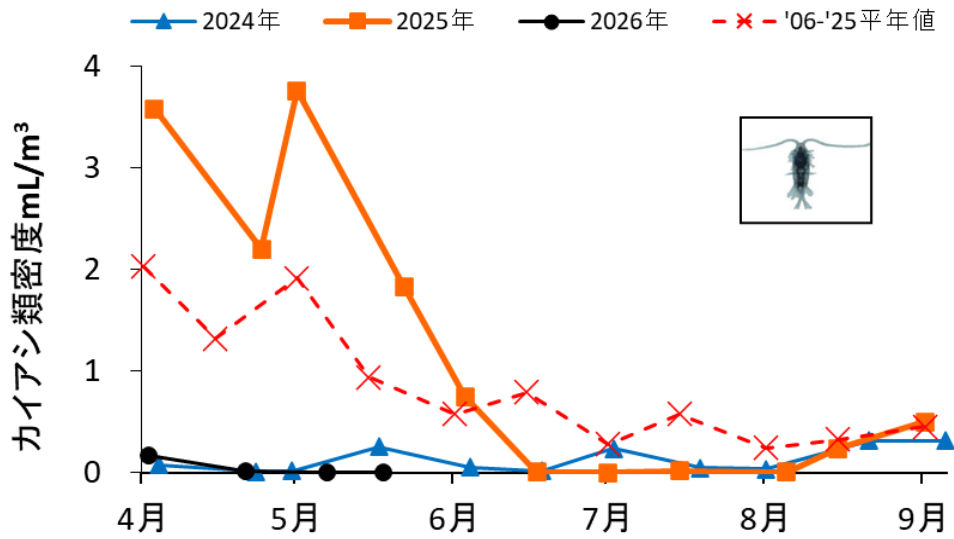


図. カイアシ類量の推移

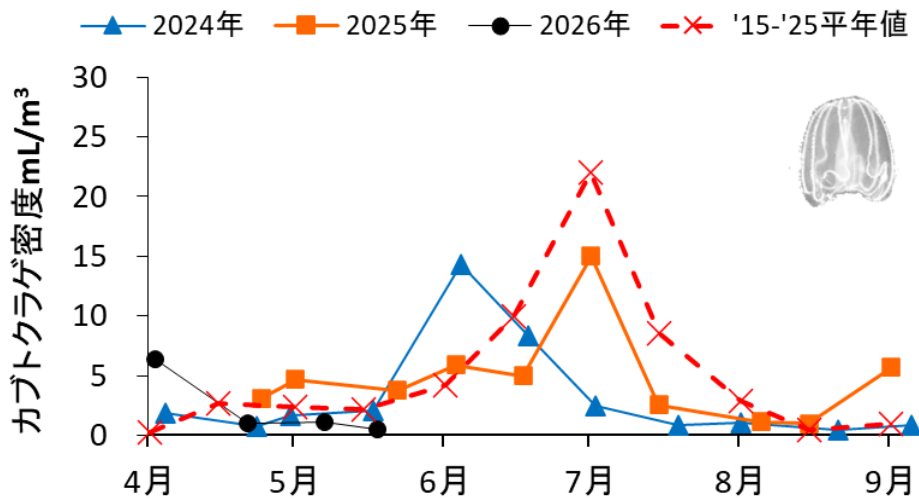


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。  
 ※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。  
 ※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(3回目)

調査日: 2026/5/18

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	20.1	559	0	27	19	0	0
H2	20	20.1	166	0	2	4	0	0
H3	20	20.1	265	0	3	67	0	0
H4	20	20.1	366	0	1	55	0	0
H5	20	20.1	130	0	9	13	0	3
H6	20	20.1	308	0	0	25	0	0
H7	20	20.1	58	0	2	3	0	0
平均		20.1	265	0	6	27	0	0

※卵稚仔数は採集数を示す。

※表層水温は、伊吹島水温ブイにおける午前9時水温を示す。